

第95期 報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

C O N T E N T S

目次

株主の皆様へ	2
当社グループの事業の概況	3
業績の推移	8
トピックス	9
連結貸借対照表	11
連結損益計算書	11
連結株主資本等変動計算書	12
貸借対照表	13
損益計算書	13
株主資本等変動計算書	14
会社の概況	15
(1)会社の株式に関する事項	15
(2)当社グループの主要な事業内容	15
(3)当社の主要な営業所および工場等	16
(4)従業員の状況	16
(5)重要な子会社および関連会社の状況	16
取締役および監査役	18
執行役員	18

▼表紙の写真▼

クッチャロ自然の森だいでう

当社は、北海道枝幸郡浜頓別町にあるクッチャロ湖のほとりに370万㎡の土地を所有しており、半世紀以上にわたって植樹活動等を行ない、森林の維持・保全に努めてきました。

クッチャロ湖は、平成元年に日本で3番目にラムサール条約(水鳥の貴重な生息地である湿地を保護する国際条約)登録湿地に指定され、毎年春と秋には数万羽のコハクチョウが羽を休める中継地としても有名です。

当社は、平成17年にこの森を「クッチャロ自然の森だいでう」と名付け、環境保全・自然愛護啓発のシンボルとし、社会貢献活動の一つとして環境教育など様々な環境活動を展開しています。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より大同特殊鋼および大同特殊鋼グループ各社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

当社第95期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

大同特殊鋼グループは、経営理念を「素材の可能性を追及し、人と社会の未来を支え続けます」と定めております。特殊鋼をはじめとする素材および素材に関する技術の高度化を継続的に推進し、新たな価値を創造することにより、多様化する社会のニーズに応え、その発展につながるよう貢献し続けることを目指しております。

現在の事業環境といたしましては、2018年度後半より中国、欧州いずれも景気減速が顕在化し、足下は自動車産業、建産機ならびに半導体産業向けを中心に、在庫調整を含め需要減速の状況が続いてきております。概括的に見れば、今後は緩やかに需要回復していくものと想定しておりますが、米中貿易摩擦、Brexit等世界経済に大きな影響を及ぼす課題が山積しており、その動向につきましては適宜注視し、適切に対処してまいります。

当社グループの主要なお客様である自動車産業においては、内燃機関の効率化が継続的に志向されるとともに、電動化、自動運転化など100年に1度の大きな技術革新が進展しております。また、AI、IoTといったデジタル革命も浸透し始めており、その動きに付随して、さまざまな産業で半導体需要の増加や自動化に伴う各種ロボットの需要拡大が予測されております。これらの社会ニーズ変化に伴い、素材に求められる機能もより高度化していきます。大同特殊鋼グループ2020年中期経営計画の基本方針「Beyond the Special『機能性に優れた素材で、お客様の技術革新を支える』」をベースに、

- ・ポートフォリオ改革(構造材料から機能材料へ)
- ・事業基盤の強化(損益分岐点改善、経営体質強化)
- ・事業の再構築(選択と集中)

といった成長戦略を着実に進め、人と社会に貢献し続けることを目指してまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長

石黒 武



(1) 事業の経過およびその成果

当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費の持ち直しが緩やかに継続しました。企業活動は、設備投資が増加するなど、緩やかな景気回復基調が継続しました。ただし、第4四半期に入り鉱工業生産の一部に弱さが見られるなど、景気には弱い面も出てきました。海外経済につきましては、米国は個人消費や設備投資が増加し、着実な景気回復が続きました。欧州は、堅調な雇用環境を背景に、緩やかな景気回復が続きましたが、ドイツのGDP成長率が横ばいになるなど足踏みの動きも見られました。中国は、輸出が減少するなど経済成長率は減速傾向でしたが、政府の景気対策効果による下支えが今後期待されています。

このような経済環境の中、当社の主要需要先である自動車や産業機械メーカーに関しましては概ね好調に推移しました。その結果、鋼材売上数量は前期比で増加いたしました。ただし、半導体関連など一部の分野では需要が減少いたしました。一方、原材料・資材関係につきましては、鉄スクラップ価格は旺盛な国内需要を受け、概ね前期よりも高値で推移しました。また、製鋼工程で使用する黒鉛電極等の副資材価格が高騰し、コストアップとなりました。

これらの結果、当期における売上高は、売上数量の増加および原材料・副資材価格の上昇を反映した販売価格の上昇等から前期比380億36百万円増収の5,432億55百万円となりました。経常利益は、副資材

価格の高騰にともなうコストアップが影響し、前期比17億87百万円減益の343億43百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比27億38百万円減益の211億82百万円となりました。

(2) セグメントの業績

① 特殊鋼鋼材

構造用鋼は、自動車関連需要が高位で推移したこと、産業機械向けの需要も旺盛であったことから前期比で数量が増加いたしました。工具鋼も、自動車分野の堅調さ等を受け前期比で数量が増加いたしました。また、上記のとおり鉄スクラップや副資材の価格高騰により製造コストが増加いたしました。販売価格は、原材料・副資材価格の上昇を反映し前期比で上昇しました。

これらの結果、当期における特殊鋼鋼材部門の売上高は、売上数量の増加および原材料・副資材価格の上昇を反映した販売価格の上昇等から前期比9.9%増加の2,077億44百万円、営業利益は、副資材価格の高騰にともなうコストアップが影響し、前期比4億79百万円減益の59億98百万円となりました。

② 機能材料・磁性材料

ステンレス鋼・高合金は、自動車の燃費改善に向けた動きの中で需要が増えており、売上数量は前期比で増加いたしました。一方、半導体関連は世界的な設備投資延期等の影響により、また磁石製品は中国自

自動車販売の減少等を受け、それぞれ在庫調整の動きもともない売上数量は減少いたしました。粉末製品は、原材料高を反映した販売価格の上昇により売上高が増加いたしました。

これらの結果、当期における機能材料・磁性材料部門の売上高は、自動車関連向けステンレス鋼・高合金等の売上数量の増加や販売価格の上昇等から前期比 8.1%増加の1,845 億 53 百万円、営業利益は半導体関連ステンレス鋼、磁石製品の数量減少等が響き前期比 15 億 1 百万円減益の 206 億 94 百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品は、航空機関連需要が堅調に推移したこと等により売上高は前期比で増加いたしました。半導体関連需要は第4四半期で減少いたしました。型鍛造品・エンジンバルブ部品は、自動車生産が好調であり、売上高は前期比で増加いたしました。精密鍛造品は、タービンハウジングの需要拡大が継続し、売上高は前期比で増加いたしました。ただし、中国自動車の販売減少等によりタービンホイールは在庫調整の動きとなりました。

これらの結果、当期における自動車部品・産業機械部品部門の売上高は、主に売上数量増が寄与し前期比 3.4%増加の1,099 億 29 百万円、営業利益は、副資材価格の高騰にともなうコストアップ等が影響し前期比 7 億 61 百万円減益の 23 億 8 百万円となりま

した。

④エンジニアリング

企業の設備投資が好調であったことを受け、当期におけるエンジニアリング部門の売上高は、前期比 10.7%増加の 275 億 28 百万円、営業利益は、前期比 4 億 55 百万円増益の 22 億 91 百万円となりました。

⑤流通・サービス

中国内需の減速を受けた中国流通子会社の売上高減少等により、当期における流通・サービス部門の売上高は、前期比 4.8%減少の 134 億 99 百万円、営業利益は、前期比 1 億 58 百万円減益の 25 億 27 百万円となりました。

なお、セグメント別の売上高につきましては、7ページのグラフのとおりであります。

(3) 対処すべき課題

今後の世界経済は、やや減速し成長率は鈍化すると見込んでいます。米国は雇用環境の堅調さ等から緩やかな成長が継続すると見込まれますが、減税効果が薄れるなどやや減速すると見込んでいます。中国は米国との貿易摩擦等により経済成長が鈍化傾向にある中、政府の政策等が下支えとなり減速が緩やかとなることが期待されます。ただし、過剰債務問題などがリスクであると認識しています。日本経済も外需の減速から成長は鈍化すると見込んでいます。こうした経済環境の中、主要需要先である自動車産業は、主要市場である米国・中国では微減となると見込んでいます。また、大きく減速している半導体分野の回復には時間がかかると見込んでいます。

また、米国の保護主義的な政策や英国のEU離脱問題など、世界経済に影響を与えうる不安定要因があり、注視していく必要があります。さらに、為替変動にともなう需要の減少リスク、原燃料価格の変動リスク等も引き続き当社グループに影響を与えうる注視すべきリスクと認識しております。

他方、中長期的な視点では、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが地球規模での大きなテーマとなっています。お客様におきましても地球温暖化ガスの削減が大きなテーマとなっており、自動車の内燃機関や航空機のジェットエンジンの高効率化が求められています。自動車産業ではさらに、電動化などのパワートレインの多様化や自動運転、コネクテッドカー化など、

100年に1度の大きな技術革新が起きようとしています。また、ビッグデータ、AI(人工知能)、IoT(モノのインターネット化)を活かしたデジタル革命が進んでおり、いろいろな産業界に変革がもたらされようとしています。それらにより、半導体需要の増加やロボットによる自動化等が進展すると見込まれます。

当社は、これらお客様の技術革新を、機能性に優れた素材を提供することで支えてまいります。例えば、内燃機関・ジェットエンジンの高効率化には高耐熱・高耐食ステンレス鋼や高合金を、自動車の電動化には高性能磁石や高機能粉末を、自動運転化には軟磁性材料等を提供してまいります。デジタル革命に対しましても半導体製造装置に必要な高清浄ステンレス鋼や自動化・ロボット化に必要な高性能磁石等、お客様の必要とする高機能な素材を提供することで、その進化・技術革新をしっかりと支えてまいります。

これらの実現のために、下記3点の行動方針のもと中長期的成長を目指してまいります。

①ポートフォリオ改革(構造材料から機能材料へ)

成長機会の多い機能材料・磁性材料セグメントへ積極投資を実施し、売上高トップセグメント化を目指します。全社的製品ポートフォリオを改革し、利益の最大化を目指してまいります。

上記のとおり、今後は耐熱性、耐食性、高清浄度や磁気特性等の機能性に優れた素材へのニーズが高まる見込みです。ステンレス鋼、高合金、粉末といった機

能材料や磁性材料の需要が継続的に伸びていくと想定しています。この動きを確実に捉え安定供給を果たすべく、生産能力の増強投資、ソリューション機能の強化を順次進めてまいります。また、長期的に大きな市場成長が見込まれる磁石事業については、研究開発体制の強化等を進め、今後の成長に向けた準備を整えてまいります。

②事業基盤の強化(損益分岐点改善、経営体質強化)

長期継続的な成長を実現するため、事業基盤を強化してまいります。

事業全体の基盤である鋼材事業に関しては、徹底したコストダウンを行い、再生産可能な適正マージンを確保することを目指します。また、既存設備の能率向上、一貫歩留の向上、物流の整流化を進め、生産スループットの最大化を目指してまいります。持続可能な社会の実現に向け、環境投資も積極的に進めてまいります。事業基盤の根幹である人材に対しても働き方改革による生産性向上と人材育成の両立を目指してまいります。

③事業の再構築

採算の悪い事業についての見極めを行い、採算の取れる事業への再構築を進めてまいります。選択と集中を進めることにより経営効率を上げ、中長期的に資本効率を高めてまいります。

当社グループはグループ経営理念を「素材の可能

性を追求し、人と社会の未来を支え続けます」と定めております。素材または素材に関する技術をもって素材が秘めている可能性をひきだし、新たな価値を創造することで、人と社会の未知のニーズに応え、その発展に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

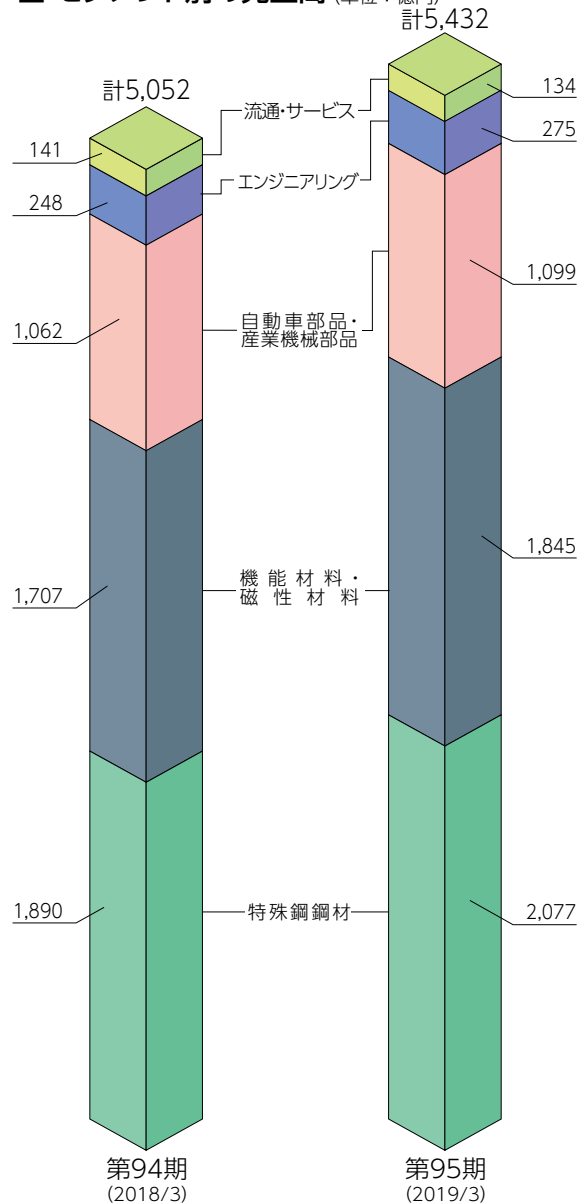
(4)設備投資等の状況

当期において実施した当社グループの設備投資の総額は344億13百万円であります。

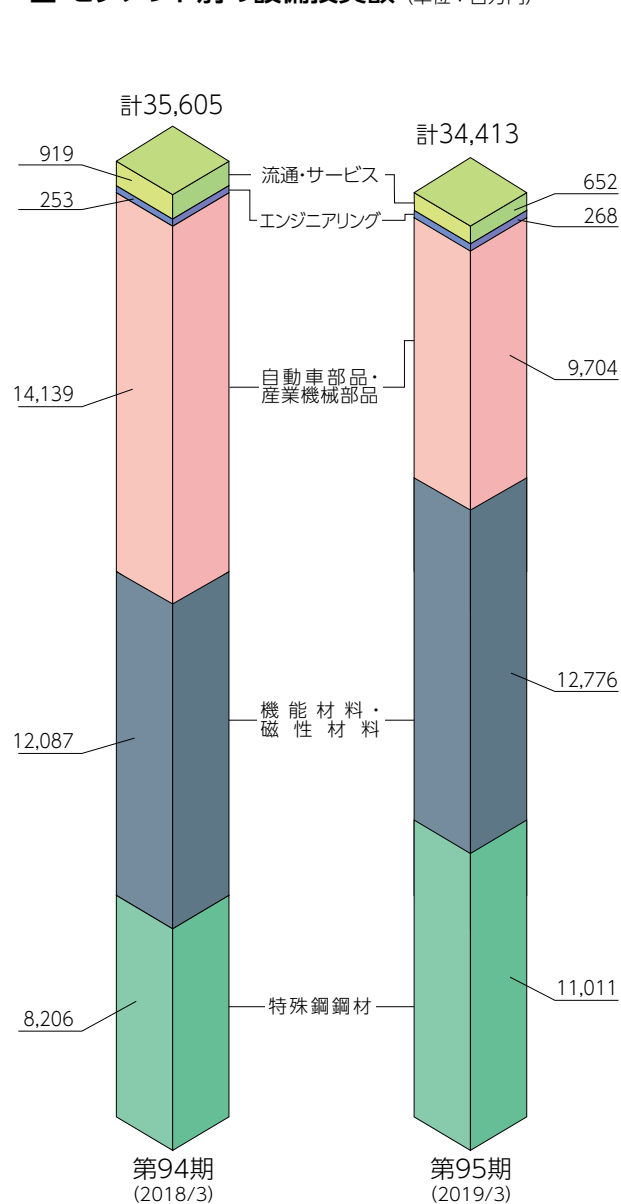
なお、セグメント別の設備投資額につきましては、7ページのグラフのとおりであります。

当社グループの事業の概況(つづき)

■ セグメント別の売上高 (単位：億円)

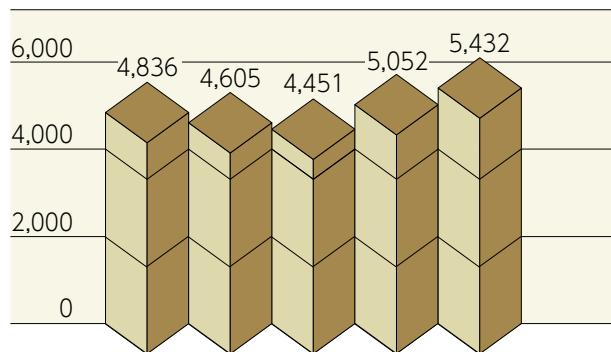


■ セグメント別の設備投資額 (単位：百万円)



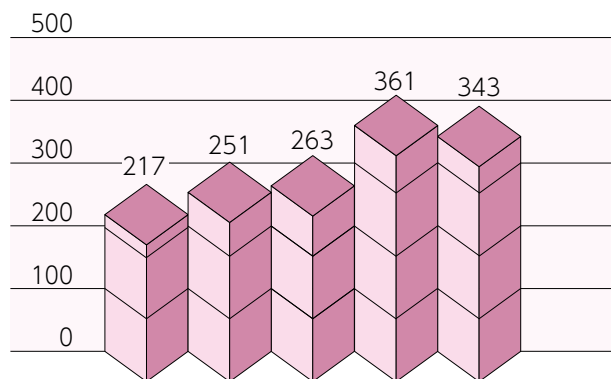
業績の推移

(1) 当社グループの業績の推移



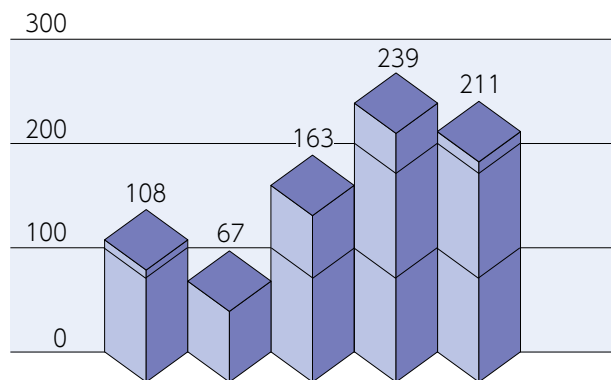
■ 売上高

(単位: 億円)



■ 経常利益

(単位: 億円)



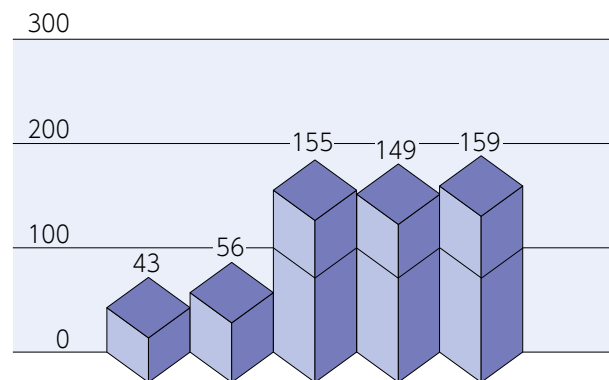
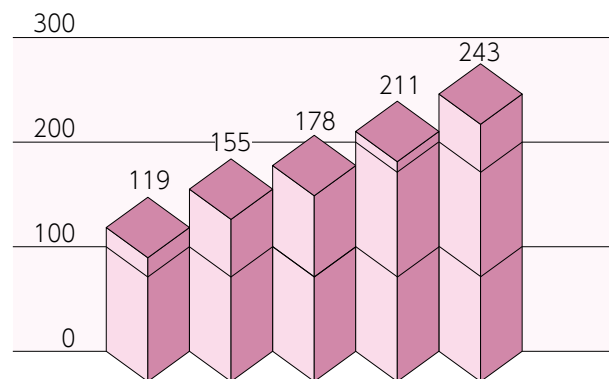
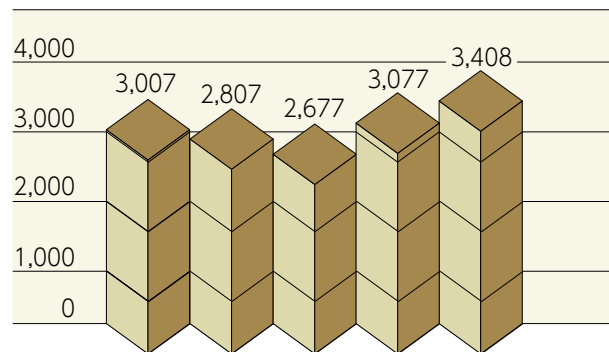
■ 当期純利益

(単位: 億円)

第91期 第92期* 第93期* 第94期* 第95期*
(2015/3) (2016/3) (2017/3) (2018/3) (2019/3)

*第92期から第95期につきましては、「親会社株主に帰属する当期純利益」となります。

(2) 当社の業績の推移



第91期 第92期 第93期 第94期 第95期
(2015/3) (2016/3) (2017/3) (2018/3) (2019/3)

大同特殊鋼グループ 2020中期経営計画

経営基本方針

Beyond the Special

機能性に優れた素材で、お客様の技術革新を支える

行動方針

1. ポートフォリオ改革 (構造材料から機能材料へ)
2. 事業基盤の強化 (損益分岐点改善、経営体質強化)
3. 事業の再構築

お客様との「共創」に基づいた提案力
ソリューション機能を強化します

特殊鋼と材料のソリューション部門を統合し、重点分野についてはプロジェクトとして活動します。

I 電動化・自動運転プロジェクト

II ターボ高機能化プロジェクト

III 半導体製造装置プロジェクト

IV 高機能粉末プロジェクト

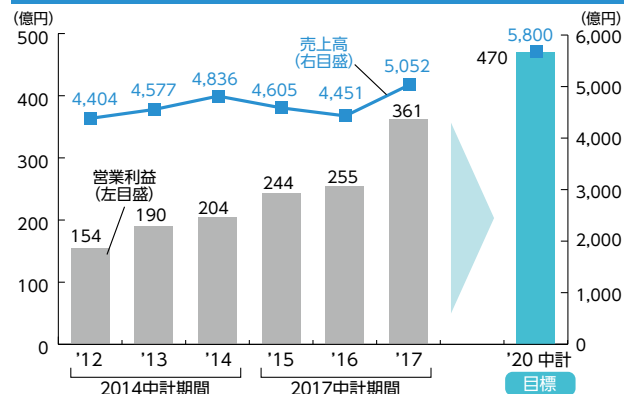
経営指標(連結)

	17年度実績	20年度目標
売上高	5,052 億円	5,800 億円
営業利益	361 億円	470 億円
当期利益	239 億円	300 億円
売上高営業利益率 (ROS)	7.2 %	8 %
総資産経常利益率 (ROA)	5.9 %	7 %
自己資本当期純利益率 (ROE)	8.8 %	9 %
設備投資 (3年累計、工事ベース)	877 億円	950 億円
配当性向	21.4 %	20~25 %

セグメント別売上高・営業利益(連結)

セグメント		17年度実績	20年度目標
特殊鋼 鋼材	売上高	1,890	2,050
	営業利益	64	70
機能材料・磁性材料	売上高	1,707	2,100
	営業利益	221	290
自動車部品・ 産業機械部品	売上高	1,062	1,200
	営業利益	30	65
エンジニアリング	売上高	248	280
	営業利益	18	20
流通・サービス	売上高	141	170
	営業利益	26	25
合計	売上高	5,052	5,800
	営業利益	361	470

売上高・営業利益推移(連結)



製品に関するトピックス

「金型用鋼材トレーサビリティシステム」を中国にて稼働

～クラウドで取引履歴を管理、偽装品の混入を防止～

日本初！耐熱チタン合金で航空宇宙用材料規格

「AEROSPACE MATERIAL SPECIFICATION」に登録

当社開発の高耐食・高硬度材：DSA[®]760、船舶用エンジン排気弁棒向けに

～世界最大手 MAN Energy Solutions 社から実用化認定を取得～

合金原料価格変動による工具鋼製品へのサーチャージ制適用について

重希土類完全フリーネオジム磁石が、Honda 新型ハイブリッド車「インサイト」に採用

「第65回 大河内記念技術賞」受賞

～ハイブリッド自動車用重希土類フリーネオジム磁石および駆動モータの開発～

表彰関係等 その他のトピックス

当社は、「平成30年度 野生生物保護功労者表彰(環境大臣賞)」に選出されました

「名演奏家シリーズ 2018」個性的な4公演に単独協賛

～ドビュッシー没後100年記念 オール・ドビュッシーのピアノ名曲集～

大同特殊鋼株式会社 佐川真人顧問が「NIMS Award 2018」を受賞しました

“鋼”のつながりで「鋼の錬金術師展」に特別協賛

築地テクノセンター操業100周年

「メッセナゴヤ2018」に出展

固定資産の取得について

～IHI愛知事業所の固定資産の一部取得をIHIと基本合意～

工具鋼事業の海外販売体制強化

健康経営優良法人2019(ホワイト500)に2年連続で認定

連結貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	313,081	流動負債	221,091
現金及び預金	41,734	支払手形及び買掛金	51,576
受取手形及び売掛金	118,601	電子記録債務	35,785
電子記録債権	14,198	短期借入金	74,972
たな卸資産	132,546	コマーシャルペーパー	8,000
その他	6,062	1年内償還予定の社債	10,000
貸倒引当金	△62	未払法人税等	5,372
固定資産	337,616	賞与引当金	7,845
有形固定資産	226,078	役員賞与引当金	226
建物及び構築物	81,738	環境対策引当金	1,175
機械装置及び運搬具	93,850	その他	26,137
土地	36,291	固定負債	111,465
建設仮勘定	7,945	社債	20,000
その他	6,252	長期借入金	61,301
無形固定資産	1,502	繰延税金負債	12,170
投資その他の資産	110,035	再評価に係る繰延税金負債	659
投資有価証券	87,110	役員退職慰労引当金	792
繰延税金資産	2,576	環境対策引当金	3,038
退職給付に係る資産	14,801	退職給付に係る負債	10,330
その他	5,692	その他	3,173
貸倒引当金	△145	負債合計	332,557
		(純資産の部)	
		株主資本	267,106
		資本金	37,172
		資本剰余金	30,285
		利益剰余金	203,299
		自己株式	△3,651
		その他の包括利益累計額	18,402
		その他有価証券評価差額金	17,495
		繰延ヘッジ損益	△0
		土地再評価差額金	1,537
		為替換算調整勘定	983
		退職給付に係る調整累計額	△1,614
		非支配株主持分	32,631
		純資産合計	318,140
資産合計	650,697	負債純資産合計	650,697

連結損益計算書

(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	金	額
売上高		543,255
売上原価		451,755
売上総利益		91,500
販売費及び一般管理費		57,684
営業利益		33,815
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,529	
持分法による投資利益	1,134	
その他	1,716	5,379
営業外費用		
支払利息	922	
その他	3,929	4,851
経常利益		34,343
特別利益		
投資有価証券売却益	28	28
特別損失		
事業構造改善費用	754	
その他	506	1,260
税金等調整前当期純利益		33,110
法人税、住民税及び事業税	10,577	
法人税等調整額	△352	10,224
当期純利益		22,886
非支配株主に帰属する当期純利益		1,703
親会社株主に帰属する当期純利益		21,182

連結株主資本等変動計算書

(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	37,172	30,337	187,799	△3,644	251,664
当期変動額					
剰余金の配当			△5,330		△5,330
親会社株主に帰属する 当期純利益			21,182		21,182
自己株式の取得				△7	△7
自己株式の処分		△0		0	0
連結範囲の変動			△618		△618
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動		△51			△51
土地再評価差額金の取崩			267		267
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△51	15,500	△7	15,441
当期末残高	37,172	30,285	203,299	△3,651	267,106

	その他の包括利益累計額						非支配 株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	27,497	0	1,805	1,755	1,712	32,770	31,974	316,409
当期変動額								
剰余金の配当								△5,330
親会社株主に帰属する 当期純利益								21,182
自己株式の取得								△7
自己株式の処分								0
連結範囲の変動								△618
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動								△51
土地再評価差額金の取崩								267
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△10,001	△0	△267	△771	△3,326	△14,368	657	△13,710
当期変動額合計	△10,001	△0	△267	△771	△3,326	△14,368	657	1,730
当期末残高	17,495	△0	1,537	983	△1,614	18,402	32,631	318,140

貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	194,369	流動負債	178,654
現金及び預金	18,381	支払手形	549
受取手形	303	電子記録債権	30,974
電子記録債権	2,242	買掛金	40,157
売掛金	79,337	短期借入金	35,935
製品	7,730	コマーシャル・ペーパー	8,000
半製品	25,282	1年内返済予定の長期借入金	12,700
仕掛品	18,730	1年内償還予定の社債	10,000
原材料	13,577	リース債務	38
貯蔵品	11,416	未払金	3,402
前渡金	27	未払費用	1,894
前払費用	538	未払法人税等	2,990
関係会社短期貸付金	13,568	前受金	2,454
その他	3,231	預り金	12,763
固定資産	261,207	前受収益	32
有形固定資産	130,082	賞与引当金	3,890
建物	35,254	役員賞与引当金	77
構築物	18,294	環境対策引当金	1,175
機械及び装置	55,287	工事損失引当金	18
車両運搬具	787	設備関係支払手形	204
工具、器具及び備品	3,235	設備関係電子記録債権	10,320
土地	11,769	その他	1,072
リース資産	114	固定負債	81,437
建設仮勘定	5,338	社債	20,000
無形固定資産	246	長期借入金	47,100
ソフトウェア	192	リース債務	84
その他	54	繰延税金負債	10,627
投資その他の資産	130,878	関係会社事業損失引当金	133
投資有価証券	66,520	環境対策引当金	3,014
関係会社株式	29,371	資産除去債務	269
その他の関係会社有価証券	495	その他	206
出資金	521	負債合計	260,091
関係会社出資金	211	(純資産の部)	
長期貸付金	17	株主資本	179,243
関係会社長期貸付金	16,174	資本金	37,172
長期前払費用	204	資本剰余金	29,001
前払年金費用	15,884	資本準備金	9,293
その他	1,508	その他資本剰余金	19,708
貸倒引当金	△32	利益剰余金	116,706
		その他利益剰余金	116,706
		圧縮記帳積立金	994
		別途積立金	96,500
		繰越利益剰余金	19,212
		自己株式	△3,637
		評価・換算差額等	16,243
		その他有価証券評価差額金	16,243
資産合計	455,577	純資産合計	195,486
		負債純資産合計	455,577

損益計算書

(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	金	額
売上高		340,813
売上原価		291,269
売上総利益		49,543
販売費及び一般管理費		30,397
営業利益		19,146
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,994	
その他	975	7,970
営業外費用		
支払利息	533	
その他	2,189	2,723
経常利益		24,393
特別損失		
関係会社株式評価損	2,109	
事業構造改善費用	640	
関係会社事業損失引当金繰入額	133	2,884
税引前当期純利益		21,509
法人税、住民税及び事業税	5,775	
法人税等調整額	△179	5,596
当期純利益		15,912

株主資本等変動計算書

(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本									
	資本金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
					圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	37,172	9,293	19,708	29,001	1,082	88,500	16,541	106,124	△3,629	168,668
当期変動額										
剰余金の配当							△5,330	△5,330		△5,330
圧縮記帳積立金の取崩					△88		88	—		—
別途積立金の積立						8,000	△8,000	—		—
当期純利益							15,912	15,912		15,912
自己株式の取得									△7	△7
自己株式の処分			△0	△0					0	0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	△0	△0	△88	8,000	2,671	10,582	△7	10,574
当期末残高	37,172	9,293	19,708	29,001	994	96,500	19,212	116,706	△3,637	179,243

	評 価 ・ 換 算 差 額 等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	25,924	25,924	194,592
当期変動額			
剰余金の配当			△5,330
圧縮記帳積立金の取崩			—
別途積立金の積立			—
当期純利益			15,912
自己株式の取得			△7
自己株式の処分			0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△9,681	△9,681	△9,681
当期変動額合計	△9,681	△9,681	893
当期末残高	16,243	16,243	195,486

会社の概況 (2019年3月31日現在)

(1) 会社の株式に関する事項

■発行可能株式総数	116,000,000株
■発行済株式の総数	43,448,769株 (自己株式 807,125株を含みます。)
■株主数	17,952名
■大株主 (上位10名)	

株主名	株式数 (千株)	株式数比率 (%)
新日鐵住金株式会社	3,100	7.27
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	2,458	5.76
明治安田生命保険相互会社	2,075	4.86
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,844	4.32
株式会社みずほ銀行	1,577	3.69
日本発條株式会社	1,449	3.39
株式会社三菱UFJ銀行	1,405	3.29
本田技研工業株式会社	1,305	3.06
トヨタ自動車株式会社	869	2.03
株式会社デンソー	800	1.87

自己株式は除いております。

■所有者別株式分布状況

所有者区分	株式数 (千株)	株式数比率 (%)
金融機関	18,922	43.67
国内法人	14,075	32.49
個人・その他	4,851	11.20
外国法人	4,461	10.30
自己株式	807	1.86
金融商品取引業者	209	0.48

(2) 当社グループの主要な事業内容

セグメント区分	主要な事業内容
特殊鋼鋼材	<ul style="list-style-type: none"> 自動車・産業機械・電気機械向け部品用材料、建設用材料、工具鋼・金型用材料 特殊鋼鋼材加工、流通 原材料販売 運輸、物流
機能材料・磁性材料	<ul style="list-style-type: none"> ステンレス・高合金製品、電気・電子部品用材料 磁材製品 (OA・FA用モーター、自動車用モーター・センサー、計測機器用部品等) 粉末製品 (HEV用磁性粉末等) チタン材料製品 (医療用チタン合金、形状記憶合金等) 溶接用材料
自動車部品・産業機械部品	<ul style="list-style-type: none"> 型鍛造品・熱間精密鍛造品・鋼機製品 (自動車・ベアリング向け部品等) 自由鍛造品 (船舶・産業機械・電機・鉄鋼・化工機・石油掘削用部品、宇宙・航空機用部品) 鋳鋼品 (鉄道用マンガンレール、自動車・産業機械・電機・各種炉用部品、高級鋳鋼品等) 精密鋳造品 (自動車・産業機械・電機・通信機器用部品等) 製材用帯鋸 エンジンバルブ 圧縮機器・油圧機器・工作機械用部品
エンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> 鉄鋼設備、各種工業炉およびその付帯設備、環境関連設備 (排水・排ガス・廃棄物等の処理設備)、工作機械等 機械設備の保守管理
流通・サービス	<ul style="list-style-type: none"> グループ会社製品の販売、福利厚生サービス、不動産・保険事業 ゴルフ場経営 分析事業

(3) 当社の主要な営業所および工場等

本社	名古屋市東区東桜一丁目1番10号	
東京本社	東京都港区港南一丁目6番35号	
支店・営業所	大阪支店 福岡営業所	大阪市中央区 福岡市中央区
工場	知多、知多型鍛造、知多帯鋼 星崎 澁川 粉末 君津 王子	愛知県東海市 名古屋市南区 群馬県渋川市 名古屋市港区 千葉県君津市 東京都北区
テクノセンター	滝春 中津川 築地 川崎	名古屋市南区 岐阜県中津川市 名古屋市港区 川崎市川崎区
研究開発拠点	技術開発研究所	名古屋市南区

(4) 従業員の状況

■当社グループの従業員数

セグメント区分	従業員数(名)	前期末比増減(名)
特殊鋼鋼材	3,374	17
機能材料・磁性材料	3,576	94
自動車部品・産業機械部品	3,346	434
エンジニアリング	659	△2
流通・サービス	1,065	△26
全社(共通)	401	31
合計	12,421	548

(注) △印は、減少を示します。

■当社の従業員数

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
3,425名	85名	39.1歳	16.7年

(5) 重要な子会社および関連会社の状況

(注) ※印は、間接所有の株式を含みます。

■重要な子会社の状況

特殊鋼鋼材

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
大同興業株式会社 (名古屋市東区)	百万円 1,511	% 100.0	商事
大同DMソリューション株式会社 (大阪府大東市)	435	100.0	特殊鋼鋼材の加工および販売 金型および金型部品の製造および販売 鋼材および非鉄金属の熱処理および表面処理
大同資材サービス株式会社 (名古屋市東区)	60	100.0	当社および子会社等への諸資材の販売
大同テクニカ株式会社 (愛知県東海市)	40	100.0	鋼材の精整作業
大同エコメット株式会社 (愛知県東海市)	30	100.0	当社および子会社等から発生する廃棄物のリサイクル 製鋼用原料・資材の製造および販売
DAIDO DMS(THAILAND) CO., LTD. (タイ国チャチェンサオ県)	百万 BAHT 257	※90.0	金型用鋼および工具鋼プレートの加工および販売
天文大同特殊鋼股份有限公司 (台湾桃園市)	百万 NT\$ 138	※73.4	金型用鋼および工具鋼プレートの加工および販売
DAIDO DMS SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール国)	千\$ 3,017	※85.0	金型用鋼および工具鋼プレートの加工および販売
DAIDO DMS MALAYSIA SDN. BHD. (マレーシア国セランゴール州)	千RM 7,980	※89.6	金型用鋼および工具鋼プレートの加工および販売

機能材料・磁性材料

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
日本精線株式会社 (大阪市中央区)	百万円 5,000	% ※42.9	ステンレス鋼線および金属繊維等の製造および販売
株式会社ダイドー電子 (岐阜県中津川市)	1,490	100.0	磁性材料および電子機器部品の製造、加工および販売
下村特殊精工株式会社 (千葉県市川市)	297	※92.6	特殊鋼およびその他金属の加工製品の製造および販売

会社の概況 (つづき)

機能材料・磁性材料 (つづき)

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
日星精工株式会社 (名古屋市南区)	百万円 80	% 100.0	ネジおよびボルトの製造および販売
大同電工(蘇州)有限公司 (中国江蘇省)	千US\$ 21,000	※100.0	磁性材料および電子機器部品の製造、加工および販売
THAI SEISEN CO., LTD. (タイ国サムットプラカーン県)	百万 BAHT 320	※100.0	ステンレス鋼線およびダイヤモンドダイスの製造および販売
Daido Electronics (Thailand) Co., Ltd. (タイ国アユタヤ県)	140	※100.0	磁性材料および電子機器部品の製造、加工および販売

自動車部品・産業機械部品

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
フジオーゼックス株式会社 (静岡県菊川市)	百万円 3,018	% ※51.8	エンジンバルブ等の製造および販売
株式会社大同キャストिंगス (名古屋市港区)	2,215	100.0	鋳造品および特殊鋼管材の製造および販売
日本鍛工株式会社 (兵庫県尼崎市)	310	100.0	型鍛造品の製造および販売
東洋産業株式会社 (宮城県黒川郡大衡村)	160	100.0	型鍛造品の製造および販売
大同スターテクノ株式会社 (群馬県渋川市)	150	100.0	鍛鋼品の機械加工、精整および熱処理等の請負
大同精密工業株式会社 (東京都豊島区)	90	※87.7	圧縮機部品、ターボ部品およびカップリング等の製造および販売
Daido Steel (Thailand) Co., Ltd. (タイ国チョンブリー県)	百万 BAHT 550	100.0	型鍛造品の製造および販売
FUJI OOXZ MEXICO, S.A. DE C.V. (メキシコ国クアナファト州)	百万 MXN 396	※100.0	エンジンバルブ等の製造および販売
P.T. FUJI OOXZ INDONESIA (インドネシア国西ジャワ州)	億 IDR 2,262	75.0	エンジンバルブ等の製造および販売
富士気門(広東)有限公司 (中国広東省)	百万円 64	※100.0	エンジンバルブ等の製造および販売
OHIO STAR FORGE CO. (米国オハイオ州)	千US\$ 26	100.0	型鍛造品の製造および販売

エンジニアリング

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
大同マシナリー株式会社 (名古屋市南区)	百万円 310	% 96.0	工作諸機械および各種機械の製造および販売 機械設備の保守、点検および修理
大同環境エンジニアリング株式会社 (名古屋市南区)	50	100.0	灰溶融炉設備および下水汚泥処理設備の運転・保守業務請負

エンジニアリング (つづき)

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
大同プラント工業株式会社 (名古屋市南区)	百万円 36	% 64.4	工業炉の設計、製作および販売 工業炉の保守、点検および修理

流通・サービス

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
株式会社大同ライフサービス (名古屋市南区)	百万円 490	% 100.0	当社および子会社等の福利厚生施設の管理運用 不動産・土木建設・保険・印刷事業等
株式会社大同分析リサーチ (名古屋市南区)	75	100.0	鉄鋼、製鋼、鋳物およびセラミックス等の分析・試験・調査業務の請負
株式会社スターインフォテック (名古屋市東区)	45	100.0	情報通信機器によるシステムの企画、設計、開発および保守運用受託
株式会社ライフサポート (名古屋市南区)	10	※100.0	清掃業、警備業および給食事業等
木曾駒高原観光開発株式会社 (長野県木曾郡木曾町)	10	※57.4	ゴルフ場の経営および別荘地管理
有限会社タカクラ・ファンディング・コーポレーションを営業者とする匿名組合 (東京都千代田区)	495 (出資金)	100.0	複合商業施設保有のための匿名組合
大同特殊鋼(上海)有限公司 (中国上海市)	千US\$ 3,880	※100.0	輸出・輸入商事
Daido Steel (America) Inc. (米国イリノイ州)	US\$ 9	※100.0	輸出・輸入商事

■重要な関連会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
東北特殊鋼株式会社 (宮城県柴田郡村田町)	百万円 827	% 10.0	高級特殊鋼および加工製品の製造および販売
理研製鋼株式会社 (東京都中央区)	485	39.7	特殊鋼二次製品、切削工具および工作・産業機械等の製造および販売
丸太運輸株式会社 (名古屋市瑞穂区)	100	41.3	運輸業、倉庫業、場内諸作業の請負業および土木建築請負業等
桜井興産株式会社 (名古屋市南区)	75	43.3	金属製品の熱処理の請負
泉電気工業株式会社 (東京都墨田区)	70	40.0	電気工事の設計施工および自動制御盤等の設計製作
川一産業株式会社 (川崎市川崎区)	30	35.0	沿岸荷役、倉庫および運輸業

取締役および監査役

(2019年6月26日現在)

代表取締役会長	嶋尾正
代表取締役社長	石黒武
代表取締役副社長	西村司
代表取締役副社長	立花一人
取締役	吉田学史
取締役	天野肇
取締役	梶田聡仁
取締役	相馬秀次
取締役	種村均
取締役	神保睦子
常勤監査役	志村進
常勤監査役	水谷清
監査役	松尾憲治

- (注) 1. 相馬秀次氏、種村均氏および神保睦子氏は、社外取締役です。
2. 水谷清氏および松尾憲治氏は、社外監査役です。
3. 相馬秀次氏、種村均氏、神保睦子氏、水谷清氏および松尾憲治氏は、東京証券取引所および名古屋証券取引所の定めによる独立役員です。

執行役員

(2019年6月26日現在)

社長執行役員	石黒武*
副社長執行役員	西村司*
副社長執行役員	立花一人*
常務執行役員	吉田学史*
常務執行役員	平林一彦
常務執行役員	天野肇*
常務執行役員	森義昭
常務執行役員	吉永祐孝
常務執行役員	竹鶴隆昭
執行役員	松井宏司
執行役員	清水哲也
執行役員	利光一浩
執行役員	梶田聡仁*
執行役員	野口祐二
執行役員	山下敏明
執行役員	鹿嶋忠幸
執行役員	岩田龍司
執行役員	石濱辰哉
執行役員	杉江郁夫
執行役員	広瀬尚史

(注) *印は、取締役を兼務する者を示します。

当社は、インターネット上にホームページを開設し、企業情報提供による知名度・理解度向上、社外との情報交換を促進するとともに、調達・販売・技術のグローバルなコミュニケーションの場として、さまざまな情報をご案内しております。(https://www.daido.co.jp)

◀ 株式についてのご案内 ▶

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
中間配当 9月30日
期末配当 3月31日
(その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物の送付先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日・休日を除く)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載)
【アドレス】<https://www.daido.co.jp/koukoku/>
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

(お知らせ)

・住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等のお申出先

株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。


・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・配当金受取方法のお取扱いについて

従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社等の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。

株主様工場見学会につきましては、2020年3月下旬頃の開催を計画しております。
募集のご案内は本年12月頃にご送付予定です。

 **大同特殊鋼株式会社**

**UD
FONT**

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



この報告書は、環境保護のため、FSC® 認証紙と植物油インクを使用しています。
FSC認証紙とは、非営利国際団体FSC(Forest Stewardship Council = 森林管理協議会)の
原則と基準に基づいて適切に管理された森林から切り出したチップを採用したものです。